

シルクデニット糸およびその製造方法

発明の名称 「交絡型嵩高集束糸およびその製造方法」
特許番号 特許第6759518号
出願人 福島県

【主な特徴】

天然繊維等の加工糸を解編（デニット）してストレッチ性、嵩高性、ソフト性を付与した糸、及びその製造方法。

【従来技術の課題・問題点】

絹糸に伸縮性、嵩高性を付与する方法としては、撚糸加工等、様々開示されています。しかし従来方法では、ストレッチ性、嵩高性、ソフト性の発現には限界がありました。

【課題解決のポイント】

写真2（新技術）は写真1（従来技術）と異なり、解編糸の中に複数のループを持つことで、従来欠点である伸びきりを起こさないことを特徴とします。

【技術の概要】

極めて高いストレッチ性と嵩高性を持ったソフトで風合いに優れる繊維素材（写真3）が得られます。アパレル用途、ヘルスケア関連に幅広く利用できる可能性があります。



写真1 従来技術(ループ保持なし)



写真2 新技術(ループ保持あり)



写真3 デニット（解編）前後の嵩高性の違い(同重量)

- 実施許諾 要相談
- 共同研究等 可能
- 事業化の実績 なし

連絡先：福島県ハイテクプラザ 産学連携科 024-959-1741